

# XPHERE

エクスフィアブロックチェーンネットワーク

分散型サービスに最適化  
超連結ブロックチェーン



SASEULブロックチェーンの  
技術的優位性を継承

Seoul Labsが  
ブロックチェーンを独自開発

**「エクスフィア」**

# Native Coin – Xphere(XP)

## エクスフィア(Xphere)は Xphereにパワーを提供する 燃料の役割

Xphere(XP)コインとは、エクスフィアのブロックチェーン内で送金される基本の仮想通貨です。Xphereは、スマートコントラクトを作成あるいは実行したりXphereネットワーク内でXphere(XP)などの他の仮想通貨を送金するときの取引手数料を支払うために使用されます。

Xphere(XP)コインは、分散型アプリケーションプラットフォーム(dApp)を駆動するために不可欠となる燃料の役割を担うものです。



### Xphere (XP)コインの概要

区分	内容
コイン名	エクスフィア(Xphere)
ティッカ	XP
コンセンサスアルゴリズム	PoW基盤の多層合意方式
総供給量	5,500,000,000XP (55億個、100年間マイニング)
ジェネシス発行	2024年3月12日
半減法則	毎年約16%減少 (4年周期50%半減)

1 Xphere (XP)は $10^{18}$  peb.

# Overview

## Xphereはエンタプライズ級のサービスに最適化した次世代ブロックチェーン

### 各産業サービスに最適化

Xphereは現実世界で企業レベルのサービス使用性を最適化することを最優先とし、生態系を活性化してシステム性能と安定性を高めることを目標とします。

### 独創的な3層チェーンアーキテクチャ

Xphereは3層チェーンの論理的なアーキテクチャを備えているため、dAppサービスの運営を最適化すると同時に、処理速度、脱中央集権化、セキュリティ面においても高い満足度を提供します。

### 生態系の活性化のためのアライアンス運営

Xphere Governance Allianceメンバーを中心に、多様なファンドの効果的な運用によって生態系の活性化の基盤を強化します。

A large, stylized graphic of the Xphere logo, featuring a glowing blue and purple sphere with a network of lines and a bright central point, set against a dark background with a white brushstroke effect.

XPHERE

# Xphere – Innovative New Blockchain

## Xphereは世界初の 次世代ブロックチェーン

Xphereはトリレンマ問題を克服した世界初の3世代ブロックチェーンです。独自のコンセンサスアルゴリズム、効率的な分散DB運営メカニズム、クロスチェーントランザクションなど優秀かつ安定的な技術をもとに、次世代ブロックチェーンとして注目されています。

1st Generation



2nd Generation



3rd Generation



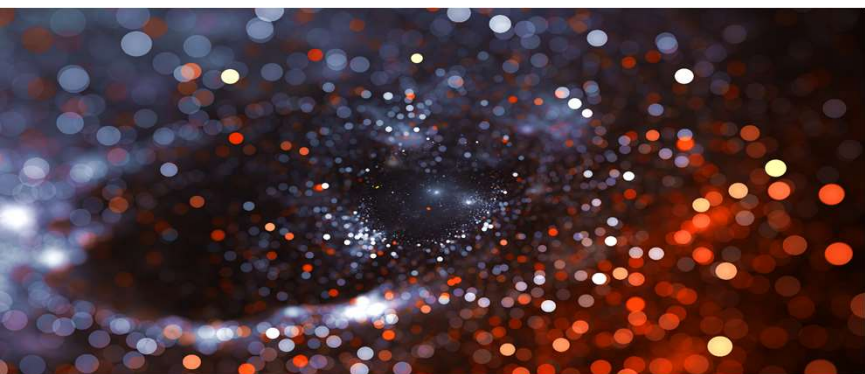
Xphere Blockchain



# Why Xphere?

## Xphereはメタ産業革命の 実生活への適用を目的とする 商用レイヤー

パブリックブロックチェーンプロジェクトであるXphereは、初期生態系の基盤を構築した後、すべてのコミュニティの参加と寄与を尊重し、新たな技術とサービス革新を結合するメタ産業革命のための実用的なブロックチェーン商用レイヤーとして構想されました。



### 技術優位

既存のブロックチェーンの中でも最も圧倒的な性能

#### 迅速な取引処理速度

- リアルタイム取引完了性(1~2秒)
- 単位時間あたりの取引量確保により使用性を保証 (4,000 TPS以上)

#### 完全な脱中央集権化

- PoW基盤の多層合意
- リソース・メインチェーン分離によるネットワーク運営の効率化

#### サービス拡張性

- 拡張可能なサービスチェーン運営
- 高性能サービスの運営環境を提供
- DApp開発の利便性の向上

#### 手頃な取引手数料

- 取引あたりの手数料 $1 \times 10^{-6}$  Sphere (XP)
- 体感手数料はほぼ「Zero」レベル

#### クロスチェーン インタラクション

- ブロックチェーン同士の直接取引をサポート
- ブリッジとともに選択的に使用可能

#### 独自技術の確保

- トリプルチェーンのロジック構造
- 漸進的な相互運用性の強化



XPHERE

#### ガバナンスアライアンス

- 100件以上の企業などが参加
- 初期生態系の活性化に寄与

# Core Technologies

## Xphereはサ ビスに最適化した メタ産業革命の商用レイヤ

パブリックブロックチェーンプロジェクトであるXphereは、初期生態系の基盤を構築した後、すべてのコミュニティの参加と寄与を尊重し、新たな技術とサ ビス革新を結集するメタ産業革命のための実用的なブロックチェーン商用レイヤ として構想されました。

### ✕ 3層チェーンアーキテクチャ

リソースチェーン、メインチェーン、サービスチェーンによってトリレンマを克服してサービス拡張性を確保

### ✕ 仮説検証フロ

ブロック作成に多くのバリデータを同時参加させることで処理速度とセキュリティを強化

### ✕ データの保存

最適化されたマルチリ方式によって保存の効率性を極大化

### ✕ クロスチェーントランザクション

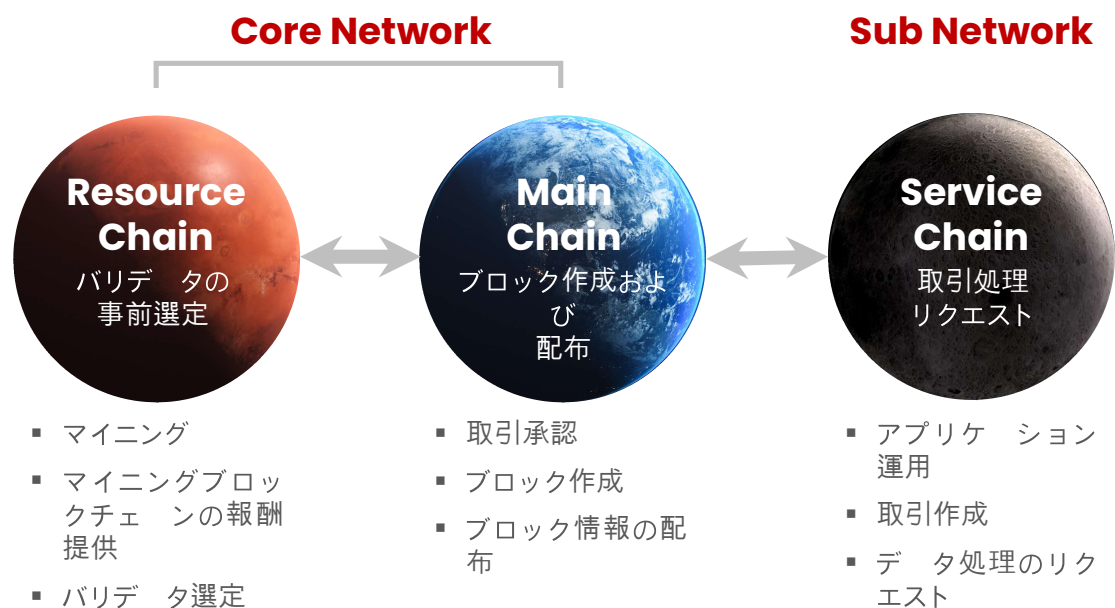
物理的なブリッジなしにスマートコントラクトでブロックチェーン同士の直接取引をサポート

### ✕ 前処理データのオンボードシステム

すべてのデータをブロックチェーンにオンボード可能

# Triple Chain Architecture

Xphereはトリレンマを克服し  
dAppサビズに最適化した  
アーキテクチャを保有



01

## リソースチェーン

- リソースチェーンネットワークは、プルーフ・オブ・ワーク(Proof of Work)によってバリデータを事前に選定します。
- 成功的なマイナーは小さなブロックチェーンの報酬(リソース)を獲得し、次のバリデータとして選ばれます。
- 「リソース(Resource)」は、「リファインメント(Refinement)」というプロセスを経てXphere (XP)コインに切り替えられます。

02

## メインチェーン

- メインチェーンネットワークはトランザクションを検証して実行し、全体のネットワークにブロックを作成して配布します。
- 事前に選ばれたバリデータは、ブロックの作成および取引完了を担当します。
- 「仮説承認」というアルゴリズムを適用します。

03

## サブチェーン

- サブチェーンネットワークは、分散型アプリケーション(dApp)によって独立的に運営されるサブブロックチェーンであって、Xphereの下位ネットワークです。
- サブチェーンネットワークは、トランザクションを作成してデータのリクエストを処理するノードを通じて、メインチェーンネットワークに繋がります。



# Advantages Of Triple Chain Architecture

## 3層チェーンアーキテクチャは ブロックチェーンネットワークの 運用効率性を最適化

線形構造のバリデータに依存する既存のブロックチェーンは、分散処理速度に負担を与え、ブロックチェーン内の統合アプリケーションの運用の効率性を下げました。  
これを解決するために、Xphereは、役割に応じてシステム運営を3つの論理的なチェーンネットワークに分けてシステム運営を最適化します。



### リソースチェーン

- マイニング、バリデータ選定、ブロック作成プロセスを分離
- ブロック作成および取引完了時間の短縮



### メインチェーン

- リソースチェーンとメインチェーンの同期化
- 迅速な取引登録とセキュリティの両方を保証



### サービスチェーン

- 高いTPSと独自のネットワーク政策を備えた専用環境を構築
- 安定的かつ迅速な取引が可能



# Technology Evolution Timeline

## 段階的な進化によって 技術革新を実現

初期のXphereはリソースチェーンとメインチェーンを含むデュアルチェーンとして、短期的には技術公開を制限する運営方針を進める予定です。追ってサービスチェーンを分離することで、ブロックチェーンアプリケーションの市場進出を促進する多角化されたブロックチェーンネットワークを運営するために技術の向上を図る予定です。

2024

### ノード参加許可型パブリックブロックチェーン

- コアネットワークはリソースチェーンとメインチェーンで構成
- 初期生態系の構築に集中
- ガバナンスアライアンスが初期生態系を先導
- 20件以上のガバナンスアライアンスメンバーを募集
- ネットワーク技術の公開を制限





2025

### 3層チェーン構造のパブリックブロックチェーン (サービスチェーンの技術公開)

- dApp運営に最適化したサービスチェーンが追加で構成
- ネットワーク技術のアップグレードおよび開発ツールの強化
- サービスチェーン技術へのアプローチが制限的にオープン
- 約100件以上のガバナンスアライアンスメンバーを募集
- dApp市場進出を促進するために多様な支援政策を実施

2026

### 完全オープン型3層チェーンの パブリックブロックチェーン

- 完全オープン型ブロックチェーンネットワーク技術の実現
- バリデータとして参加者制限を解除
- 生態系のインフラ強化
- 開発者のコミュニティ運営強化

(上記の計画は状況によって変更することがあります。)

# Xphere Governance Alliance

## XGAは初期生態系の インフラを提供

Xphereガバナンスアライアンスはコアチェーンネットワーク、すなわち、リソースチェーンとメインチェーンのノード運営者グループ、またはこれに準ずる役割を担います。ガバナンスアライアンスの構成員はコアチェーンネットワークのノードを維持する役割を担いますが、このアライアンスはXphereの初期生態系で基本インフラを提供する必須的な役割を担います。



# Xphere Economy & Funds



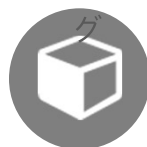
## Xphereエコノミ は生態系を 持続的に支援するように設計

Xphereエコノミーは、プラットフォームの生態系運営、成長計画および戦略的投資を持続的にサポートするように設計されました。これは、ネットワーク拡張に寄与したり、長期的な成長に投資する他の参加者にインセンティブを提供したりします。

### ブロック リワード



Xphereコインマイニング



取引手数料

50%

生態系

- マイニングプールを提供
- 初期生態系の構築に対する報酬
- 間接投資 (VC)
- dAppプロジェクト支援 (GRANT)

30%

マーケティング & コミュニティ

- 全体コミュニティの造成
- 生態系拡張
- Xphereの直接・間接的マーケティング

20%

財団

- アライアンスメンバーの確保
- 流動性の提供
- サービス開発
- 財団運営

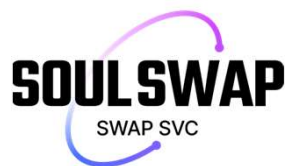
# Initial DApp Application

## dAppサービスの成功事例を確保し 初期生態系を活性化

Xphereは、初期生態系で約30件のdAppを誘致してブロックチェーンサービスの拡張のための成功的なモデルを早期に確保する予定です。



XPHERE TAMSA





Hyper-connected Blockchain  
for Vertical Industry Excellence

